

四国経済産業局・四国総合通信局による地方創生・DX推進に関する合同ワークショップを開催

- 四国総合通信局では令和8年6月15日（月）、当局において四国経済産業局との地方創生・DXに関する合同ワークショップ（WS）を開催しました。
- このWSは、四国経済産業局の地方創生支援チームによる各地域における活動状況、総務省DX支援策及びデジタル活用事例を両局間で共有するとともに、管内自治体をモデル地域とした若手職員による地方創生に向けたアイデアを出し合うことにより、人材育成や両局の連携推進を目的として実施したものです。（両局の若手職員や地方創生に関わる職員を中心に約30名が参加。）

全体概要

- 最初に、四国総合通信局村上情報通信部長から開会挨拶と“地方創生に向けたDX支援策及びデジタル活用事例”について説明。
- 続いて、四国経済産業局地方創生支援チーム長の久保地域経済部次長から“地域支援チームの活動状況及び地域課題”について説明。
- その後、両局の合同ワークショップを行い、地方創生に向けた課題解決・デジタル活用可能性について議論し、最後に成果発表を実施。



【村上情報通信部長による挨拶及びプレゼンの模様】



【久保地方創生支援チーム長によるプレゼンの模様】



【両局参加者による集合写真】



【会場全体の様子】

4チームによる合同ワークショップの様相

- 愛媛県A町A・B、高知県B市A・Bの4グループ（各4～5名）に編成（ファシリテーター1名）。
- ①自己紹介・アイスブレイク→②地域課題の抽出→③目標の設定→④解決方法の検討→⑤ICT、デジタル活用の可能性→⑥取りまとめ、成果発表（グループ報告）しました。



【B市-Bグループ】



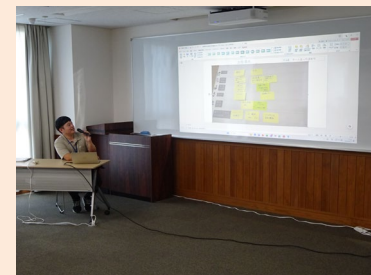
【A町-Bグループ】



【A町-Aグループ】



【B市-Aグループ】



【グループ報告の様相】